

# 「残雪フェア」3県で フジイ、顧客接点の拡大図る



農村広場多目的グラウンド (長野県栄村)



シーサイドバレースキー場 (新潟県糸魚川市)

フジイコーポレーション(藤井大介社長)は、3月4日から4月2日までの約1カ月間、残雪を使って除雪機等のデモンストレーションや作業体験を行う「残雪スノーロータリーフェア2022」を開催し、顧客接点の拡大を図った。「更新をお考えの方、初めて購入をお考えの方とも多数ご来場いただき、除雪機の需要の高まりを感じる内容だったと振り返った。

ことから、今年では会場を新潟県内6カ所、山形県と長野県の各1会場に増やして実施。最新型の除雪機を大型から小型まで、ドザータイプを含

め多くの型式を準備し、多くの来場者で賑わった。会場はいずれも県内有数の豪雪地であり、「残雪期ならではの雪の飛び

」でこれを目当てに来場したお客様も見られた。更新をお考え

いる方は、購入前の試運転ができる貴重な機会として、いくつかの型式を使い比べ、雪の飛び具合や操作性などを見極め、購入するモデルの絞り込みを図った。「初めて購入を考えてい

る方は、どのモデルが良いか分からず実際に手に取ってみたいと来場され、機体サイズや操作性、除雪能力を確認していたようだった」と担当者は振り返った。

安全講習会は、除雪機商戦となる「初雪フェア」には例年行っているが、今回の「残雪フェア」でも実施したところ好評だった。「これからシーズンオフに入り、除雪機を使う感覚を忘れる前に、作業安全のポイントを聞けて良かった」といった声も聞かれた。

中には、今まで所有している除雪機に関する悩みや相談などをメーカーに直接聞いてみたいという来場者も見られ、メーカー、販売店、ユーザーから直接話を聞ける有意義な場となっていた。